

研修生と一緒に料理教室 LC伴支部



JA広島市は、JAと組合員の活動にじかにふれ体験を通して協同組合について考えることを目的に農林中央金庫が行う新入職員研修に協力し、9月2

～13日、2名を受け入れました。広島菜漬センター、農彩館 五日市ファーマーズマーケットなどのJAの施設や支店での実習、農業体験に加え、LC伴支部が行う料理教室にも参加させてもらい、『家の光』掲載のレシピを使って、レディース会員のみなさんと楽しく会話をしながら調理を体験しました。

JAのお仕事をたんけん 中筋小学校



中筋支店は9月12日、安佐南区の中筋小学校が、子どもたちに地域との交流を通して自分たちの生活との関わりを理解し、親しみをもってもらうことを目的に行

う「まちたんけん」に協力し、2年生12名が支店を「たんけん」しました。信用店舗で金庫を見せてもらったり、購買店舗や肥料倉庫を見学した児童らは、「JAってどういう意味?」「1日に何人くらいお客さんが来ますか?」などたくさんの質問をしました。

地元農家の田んぼで米づくりを学ぶ 伴小学校 稲の観察会

安佐南区の伴小学校の5年生は総合的な学習として、地元農家の原田信昭さんの圃場で田植えから稲刈りまでの米づくりを学んでいます。9月4日には、5月に田植えをした稲がどのように育っているかを確認する観察会を行いました。7月に伴支店が寄贈した「ちやくりん」で学んだことを踏まえて観察会に臨んだ216名の児童は、圃場に並んで自分たちが植えた稲の生長具合の観察やスケッチを行いました。児童らは10月に収穫したお米を



11月に保護者や原田さんとともに食す予定です。

先人の功績を後世に伝承 河内地区で三碑改修記念式典

佐伯区河内地区で、地域の住民会や公民館、JA広島市などが協力し、地元で古くから伝わる3基の石碑の改修を行い、9月7日に除幕式を行いました。石碑は、日清・日露戦争、北清



事変に従軍した旧河内村出身者の功労を称える「我武維揚(奉公記績碑)」、河内・砂谷・水内の三村を結ぶ道の完成を記念した「天工人其代之(新道改修之碑)」、そして地域の教育や福祉の向上、また農協の前身となった河内村産業組合の発展にも尽力した荒木三郎氏を称える「荒木三郎翁頌徳碑」の3基で、河内支店に隣接しています。経年により倒壊の恐れが出ていたことから、河内地区町内



会連合会と河内浄心会が発起人となり石碑の改修工事を実施。新たに三碑の由来を記載した記念碑も建立しました。

歌って踊って笑顔がいっぱい 高齢者ふれあい広場 LC五日市支部



敬老の日を前にした9月12日、LC五日市支部は75歳以上の会員を招待し、舞台発表や作品展示などで楽しんでもらう「高齢者ふれあい広場」を開催。「出会い、ふれあい、助け合い」をテーマに、総勢190名の会員が、カラオケやひよっとこ踊りなどに手拍子したり口ずさんだり、時には一緒に踊ったりと、笑顔の絶えない一日となりました。

